

氏名	新 関 顕
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 3 8 2 号
学位授与の日付	昭和44年 9 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Walker carcinoma 移植ラット組織中の可溶性蛋白に関する研究 第1編：肝，脾および腫瘍の核ならびにミトコンドリア画分における中性脂質について 第2編：肝，脾および腫瘍の核ならびにミトコンドリア画分におけるリン脂質について
論文審査委員	教授 田 中 早 苗 教授 砂 田 輝 武 教授 小 川 勝 士

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

著者は担癌体の蛋白ならびに脂質代謝が正常群のそれに比較して何らかの変動を受けていることを明らかにする目的でWalker carcinoma 移植ラットの肝，脾，腫瘍より核ならびにミトコンドリア画分を分離し，可溶性成分を抽出し，その蛋白量を測定するとともに単位蛋白量あたりの脂質量，パターンをthin layer chromatogram上のdensitometryにて正常群のそれと比較検討した。その結果腫瘍群に蛋白量の軽度増加を観察し，中性脂質量は腫瘍肝でやや減少，腫瘍脾，腫瘍組織で増量し，なかでもtriglycerideの変動が著明であることを認めた。(第1編) ついでリン脂質につきdensitometryならびにP³²活性値より同様な検討を行ない，腫瘍肝で軽度減少，腫瘍脾，腫瘍組織で増量していることを認めた。Sphingomyelinは腫瘍群一般に増加，腫瘍組織においてCephalin百分率の増加とこれに伴いLecithin/Cephalin比が肝，脾に比して低いことを見出した。
(岡山医学会雑誌：80巻9，10号，昭和43年10月30日，および81巻5，6号昭和44年6月30日付掲載予定)

論文審査の結果の要旨

本研究は、担癌体の脂質の動的状態を検索したものである。腫瘍、肝、脾における各脂質の変化より、担癌体の病態生理をうかがったもので、多くの新知見を得ており、価値ある業績と認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。